

平成26年度第2回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成26年11月20日（木） 10:00～11:30

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

藤田 素弘

佐藤 久善

事務局（6名）

水谷 正雄（総務部長）

丹羽 孝至（契約監理課 課長）

加藤 一吉（ ” 検査指導係長）

伊藤奈雄（ ” 契約係長）

河村あづみ（ ” 契約係）

太平 善英（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（8名）

小林 隆司（建築住宅課 課長）

田中 昌紀（ ” 営繕係長）

松田 幸寿（上下水道部 工務課 課長）

栗原 繁憲（ ” 課長補佐兼下水道係長）

小林 代二（都市整備課 課長）

出口 敏幸（ ” 課長補佐兼都市計画・景観係長）

内山 勝博（土木課 課長）

森 浩木（ ” 課長補佐兼管理係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。本日は、ご多忙中の中、ご臨席を賜りまことにありがとうございます。

伊藤委員から少しおくれるとのご連絡をいただいていることもあり、定刻になりましたので、平成26年度第2回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

皆様、おはようございます。

本日は、平成26年度の第2回桑名市入札監視委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様方には、何かとご多用のところご出席をいただきましてまことにありがとうございます。

さて、今年の今ごろは、全国的に公共工事に係る入札の不調、不落が相次ぎ大きな話題となっており、桑名市におきましても年度を通して発生し、前回の委員会でご報告を申し上げたところでございます。なお、本年度の状況につきましては、後ほど事務局から説明をいたします。

本市の入札制度につきましては、これまで、委員の皆様からのご意見、ご提言をいただきながら改正

をしてきており、今後におきましても、さらに公平で、透明性、競争性が発揮される制度となるよう適切に対応をしてまいりたいと考えております。

それでは、抽出案件5件など、本日の議事内容につきましてご審議をいただきますよう改めてお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書のとおりでございますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長から、ご挨拶を頂戴したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。お忙しいところありがとうございます。

今、総務部長さんのほうから挨拶をいただいたんですけれども、私から改めて言うことはありませんけど、無駄があつては、やっぱり税金ですので、いけないということはもちろんですが、公共事業の役割というのは、この地域の活性化、もう少しマクロで言うと経済成長とか非常に重要な役割を果たしているものですので、公正な透明性の確保というのは非常に重要だというふうに思っております。本日も、ご協力いただいて進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行いただきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開となっておりますけれども、現在のところ傍聴を希望される方はお見えになっておられません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もございますので、その時点で、傍聴の可否についてはまたお諮りをさせていただきたいと思っております。

それでは、早速、審議のほうに入りたいと思っております。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

まず、議事の(1)です。入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから説明をお願いします。

【事務局】

改めまして、おはようございます。事務局の伊藤でございます。

座って失礼いたします。

それでは、入札及び契約手続きの運用状況についてご報告をさせていただきます。

まず、指名停止の状況でございます。

資料のほうは、1ページ、2ページをお願いいたします。

今回の審議対象期間であります平成26年4月から8月の5カ月間に指名停止措置を講じたのは、資料のとおり8件でございます。主なものといたしまして、本市が独自に指名停止措置を講じた案件についてご説明をさせていただきます。

1ページの左から3番目の案件をごらんください。

株式会社魚国総本社は、滋賀県の施設におきまして、同社が提供した食事を原因とする食中毒を発生させましたため、食品衛生法違反といたしまして2日間の営業停止処分を受けました。このことが、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第7号の不正または不誠実な行為に該当いたしますので、当該事業者に対しまして1カ月の指名停止措置を講じたものでございます。

他の7件につきましては、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして本市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に、談合情報の状況でございますけれども、対象期間内におきまして寄せられたものはございませんでした。

最後に、事項書にはございませんが、先ほど部長の挨拶でもありましたように、前回の委員会でご報告をさせていただきました入札不調の状況について、簡単にご説明をさせていただきます。

昨年度につきましては、工事の入札において入札者のいない不調が、年間を通じて15件発生いたしましたが、今年度につきましては、入札者がいないといった不調は発生しておりませんで、最低制限価格を割ってしまったもので、全者が失格になったものが2件、落札候補となったものの、事後審査におきまして同種工事の施工実績がなかったために失格となったものが1件、計3件の不落が発生しております。ただ、昨年度は、12月、1月に多く不調が発生しておりますので、今後につきましても、入札状況について注視をさせていただき、不調等の対応について適切な対応をとってまいりたいと考えております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

それでは、ただいまのご報告につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしく願いします。

この指名停止に関してなんですけど、私のうろ覚えというか、魚国さんのことは前も聞いたことがあるような気がするんですけど、これはどう。

【事務局】

2年ほど前になると思うんですけども、同じような形で食中毒を発生させまして、営業停止処分ということで指名停止を受けて、今回につきましても食中毒を発生させたということで。ただ、期間内、かぶるようなところであれば加重ということで期間が長くなるんですけども、指名停止期間がかぶっていないということで、今回につきましても一月の指名停止という形で措置をさせていただいています。

【委員長】

わかりました。

ほかにはいかがでしょうか。

入札不調に関してのご説明をいただいたんですけども、昨年とやや状況が変わっているということですが、その理由などについては何かございますか。

【事務局】

去年はある程度土木工事系が入札不調が多かったんですけども、今年度につきましては、4月で一旦、東海環状道路とかそういったところの工事が終了している部分もありまして、技術者が多少なりとも余裕が出てきたところがあるのもあって、応札者につきましても相対的に見まして増えている状況がありますので、そういったことが理由ではないかというふうには分析しておるところなんですけれども。今後また、工事、下請に入っているというようなこともお聞きしておりますので、今後につきましては心配な状況も出てくるのかなというところを考えております。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この件につきましては、どうもありがとうございました。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の(2)です。抽出事案の審議について、これに移りたいと思います。

審議に先立ちまして、抽出案件5件についての説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づいて関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょう。

【委 員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席をお願いいたします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の5件の抽出理由につきまして、藤田委員のほうから説明をお願いします。

【委 員】

今回、5件を抽出させていただいた理由の理由書がありますが、大体それどおりなんです、最初の1件、光陵中学トイレ改修工事につきましては、発注金額が、わりと、比較すると高かったという。どうしてこういうトイレ改修でこんなに高いのかなというのがありまして抽出させていただきました。

2件目が、雨水桝改修工事ですけれども、これは、比較的工事金額が高いというのと、あとは、落札率が高かったということで選定させていただきました。

3件目、住宅昇降機防災対策工事ですけれども、これは、落札率が高いんですが、随意契約みたいな形でされておりましたので、1件の申し出について、どのような価格設定が行われておるのかというところで抽出しました。

4件目は景観計画推進事業ですけれども、これについては、応札業者数が1件ですね。少ないということで選定させていただきました。

最後の道路台帳作成業務委託は、随意契約になっておりまして、これもそこその値段がかかっていますので、内容等を一度見てみたいということで抽出いたしました。

以上です。

抽出事案 1 光陵中学校トイレ改修工事

【委員長】

それでは、第1案件、光陵中学校トイレ改修工事につきまして、発注担当課様から、工事概要書、位

置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

それでは、よろしくお願いします。

【担当課】

それでは、ご説明させていただきます。

建築住宅課ですが、よろしくお願いいたします。

工事名、光陵中学校トイレ改修工事、設計金額は5,661万5,760円でございます。工期といたしましては、契約日から平成26年9月12日までといたしております。工事場所といたしまして、桑名市大山田5丁目12番地でございます。

工事概要につきましては、鉄筋コンクリート造3階建ての校舎の各階男子トイレと女子トイレ、そして1階の職員トイレ、また、鉄骨造の屋内運動場トイレの全面改修で、建築工事、電気設備工事、機械設備工事一式でございます。

主な改修内容といたしましては、校舎トイレは、全て床のドライ化を行い、トイレ間仕切り壁の取りかえ、壁はボード張りの上、塗装仕上げ、天井につきましては、既設撤去の上、化粧石こうボードを新しく張ります。それと、便器の洋式化と照明器具の取りかえでございます。屋内運動場トイレは、床につきましては、屋外からの利用もありますので、踏み込み場所を確保し校舎と同様のドライ化を行い、壁、天井につきましては、校舎と同じ仕上げを行います。その他、トイレ間仕切りの取りかえ、便器の洋式化、照明器具の取りかえを行います。夏休み後、生徒が利用できるようにということで、現場工期といたしましては8月29日限りといたしております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をさせていただきます。

資料のほうは、7ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、市内に本社または本店を登録している建築工事業の許可業者で、4,500万円以上の下請契約を予定する場合は一般の許可業者は不可として規定しております。経審点数が560点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成16年以降、官公庁元請で、建築工事一式の実績を有することといたしております。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、その他といたしまして、4,500万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとさせていただきます。

次に、入札経過及び結果でございます。

資料のほうは、8ページをお願いいたします。

平成26年5月28日に開札を行いましたところ、9者の応札があり、開札の結果、3者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち最も低い価格で応札した有限会社ナカムラ建設を落札候補者といたしまして、事後審査を行った結果、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定し、税抜き4,717万8,000円で契約をいたしました。

なお、本案件につきましては、最低制限価格が変動いたしておりますので、9ページに算出根拠表を添付させていただいておりますのでご参照いただきますようお願いいたします。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いします。

【委員】

技術的な質問ですけど、ドライ化というのがよくわからなかったんですけれども、お聞きしたい。

【担当課】

ドライ化についてご説明させていただきます。

改修前のトイレにつきましては床がタイル張りになっておりまして、それで、掃除等に際しましては、水を使って掃除を行うというシステムでございます。近年、公共の建物につきましても、床を長尺塩ビシート、シート張りにしまして、上履きそのまま入って、履きかえ等は学校の判断で行われると思うんですが、廊下の仕上げ等々と同じような仕上げで、スムーズに入っていただけまして、掃除等につきましても水を使わずに拭き取り等で行うというようなシステムでございます。

【委員長】

ほか、何かございますか。

【委員】

先ほど藤田委員が最初におっしゃられたように、素人的に言うとか結構高いなという印象があったんですけど、たかだかと言ったら素人的な話でしょうけど、改修でこんなにかかるのかなという意味ですけど、やっぱり高い理由、高い安いがわからないのでそもそもあれなんですけど、理由としては、わりかし面積は広い、300平米以上あるということで、その意味があって高いのか、技術面なのかという点をちょっと知りたいなという点と、あと、桑名市内の小、中、高で、まだ必要があるところというのは幾つかあるんでしょうか。その2点お願いします。

【担当課】

回答させていただきます。

高いということなんですが、当課といたしましても、例えば、計数量を算出するにつきましては公共建築物工事積算基準に基づいて積算をしております。また、単価につきましても、刊行物を利用いたしまして、例えば、建設物価、コスト情報等をもとに単価を入れておりますので、その積み上げによって出てきた数値でございます、ということで答えさせていただきます。

それと、あと、トイレの改修につきましては、今現在としては当課といたしまして、教育委員会からの委託をもって工事を行っておりますので、あと何校残っておるということは把握はしておりません、えらい申しわけございませんが。計画的に取り組んでおるということでございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

【委員】

同じような質問になるかもしれませんが、やっぱり、素人的に見るとすごい金額やなと思ってしまうんですが、例えば、個数割にしたときに、いわゆる、例えば、便器の数に直したときに、何個分ぐらいになるものなんでしょうか。

【担当課】

今回改修させていただきました便器の数といたしましては、既設の和式便器が50個あります。それを洋式にしましたところ、52カ所。それと、小便器につきましても間隔がちょっと広がりますので、37カ所から35カ所ということになっております。

以上でございます。

【委員】

そうすると87カ所という。1人頭換算というふうに考えると、やっぱりちょっと高目なのかなという気はしないでもない。済みません。何となくトイレの改修に関しては、ちっちゃい1個分で見たときに、大体40万から50万かなというイメージを持っておりましたものですから、100件以上あるのかなと思ったんですけれども。どうもありがとうございます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

もう少しわからないんですけど、先ほど言われた、建物1つじゃないですね。何棟分かのトイレの何

カ所のトイレになるんですかね。

【担当課】

校舎が9カ所で、屋内運動場が1カ所でございます。

【委員】

9カ所で、1つが4階とか5階とかあるんでしょうか。

【担当課】

3階建てでございまして、1フロアに3カ所トイレがあるということですね。それが3階建てですので、9カ所ということになります。

【委員】

すると、1カ所500万円ぐらいかかるということですね。

【担当課】

そうですね。

【委員】

素人なのでよくわからない。ちょっと高いかなという気もしんでもない。

【担当課】

便器の物を取りかえて、例えば、和式から洋式にすることに伴って配管等も位置が変わってきますので、先ほど言いました建築工事の中にも、トイレブース、和式から洋式に取りかえることによって1個に占める面積が変わってきますので、おのずと、トイレブースの物も新しく取りかえということになります。ただ、先ほど言いました和式から洋式に変えることによりまして配管等の径等も少し変わってきますので、それに伴った金額も増えてくるわけでございます。

【委員】

すごく素人的な話をさせていただくんですけど、この部屋は広過ぎるわけでしょうけど、結局、今回の工事というのは、例えば、この部屋の4分の1のところがあって、そこに、改めて、ここで言う1カ所分ぐらいの洋式の便所をつくりましょうというふうにやると大体500万ぐらいになるって、改修といえど、結局、一からつくるみたいなものと同じような値段になる。むしろ、逆に、改修だと取り外しとかの工事が必要で、ちょっと高くなるのか、その辺の、素人的な知識が欲しいなと思ひまして、済みません。

【担当課】

新たにつくるとなりますと、全体から占める割合というのは、改修に比べては安くなるのかなと。しかし、改修が高いといひますのは、先生、先ほど言われましたように、既設の撤去等が入ってきますので、その分だけは高くなるのかなというふうな感じで考えております。

【委員長】

ほかはいかがですか。

これは、私も詳しいところはあれなんですけど、作業の工賃ですとか物の単価などは、特に教育委員会からの、学校関係であろうが、ほかのところの公共施設の、例えば、トイレを同じように改修する際も、その単価というのは同じなんですか。

【担当課】

それにつきましては一緒でございます。施設を改修するについても一緒の単価を採用しております。

【委員長】

わかりました。

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この件につきましては、特に問題なしということにしたいと思ひます

抽出事案 2 西桑名幹線雨水樹改修工事

【委員長】

それでは、次に、第2案件、西桑名幹線雨水樹改修工事につきまして、発注担当課様から、工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。よろしくお願いします。

それでは、10ページをお願いします。

工事名、西桑名幹線雨水樹改修工事、設計額964万80円でございます。工期につきましては、平成26年9月8日から平成26年11月10日でございます。

工事概要について説明をさせていただきます。

人孔改造工一式につきましては、既設ボックスカルバートと接続する樹で、現場打ち施工でございます。

次に、ボックスカルバート工でございますが、延長6.8メートル、幅1,600ミリメートル、高さ1,100から1,700ミリメートルを、開削工法により布設するものでございます。また、附帯工一式につきましては、既設舗装版の取り壊し、仮設道路の設置等のものでございます。

概要は以上でございます。

続きまして、13ページをお願いします。

工事場所につきましては、桑名市東方地内でございます。

以上でございます。

【事務局】

本案件に関する発注入札の状況を説明させていただきます。

上下水道部の大平と申します。

本案件、平成26年8月6日に事後審査型条件付一般競争入札として発注をしております。発注の業種が土木一式です。入札の参加の資格は、市内の土木工事業の経審が719点以下です。ほかの要件は、以下のとおりとなります。

続きまして、15ページになります。

本件、8月26日に開札をしております。応札が5者あって、うち2者が失格、新成テック株式会社様が税抜き850万円で落札し、その後の審査で契約としております。以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

【委員】

基本的なことなんですが、経審点数が719点以下になっていますけれども、以下というのがよくわからないんですけど、以下であったらゼロでもいいのかという気もするんですね。何か最低ラインとかは、どこか別に設定されているのでしょうか。720点以上も可というのがよくわからない。

【事務局】

契約管理課のほうからお答えをさせていただきますが、毎年6月からということで、発注基準のほうを定めさせていただいておるんですけれども、この経審点数のほうが、719点以下ということで0点でもいいのかというご質問かとは思いますが、0点の場合ですと完成工事高がないと思いますので、この工事自体には参加できないという形になってしまうような状況になると思うんですけれども。以下というふうに切ってある理由といたしましては、ここより上の業者さんですとっと大手の業者さんが出るようになってしまいますので、このあたりで切っておいて、中小の業者さんで、この金額であればいただくという形で基準のほうを定めさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

【委員】

ということは、以下があってもいいと思うんですけど、でも、最低水準というのはどこかにあるだろうなと思ったんですけども、その最低水準は、別の要件である程度満たされるという考え方でいいでしょうか。

【事務局】

お答えさせていただきます。

完成工事高が予定価格の2分の1以上あるというところで縛りをさせていただいているのと、あと、同種工事の施工実績ということで土木工事一式の実績を求めていますので、そこで適正な施工を確保するということでございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

今までもございましたが、抽出議案の、以下という要件のものというのは、済みません。

【事務局】

抽出議案の中でもございますし、発注基準自体といたしまして、金額が安いと言うとあれですけども、低いものにつきましては、何点以下というような設定、ある程度金額ですと、点数が何点から何点まで、もっと高額なものになりますと、何点以上というような設定で基準のほうはさせていただいております。

【委員長】

ほかはいかがですか。

それでは、この案件につきましては、問題なしということにいたしたいと思います。

抽出事案 3 日物谷改良住宅昇降機防災対策工事

【委員長】

それでは、次に、第3案件です。日物谷改良住宅昇降機防災対策工事につきまして、発注担当課様から、工事概要書、位置図、随意契約の理由について説明をしていただき、その後、事務局から、見積もり経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

工事名といたしまして、日物谷改良住宅昇降機防災対策工事でございます。設計額885万6,000円でございます。工期、契約日から平成26年10月15日まででございます。工事場所といたしまして、桑名市大字東方2218番地17地内でございます。

工事概要につきましては、平成14年、15年度に建設された日物谷改良住宅2棟に設置されている2基のエレベーターを、平成21年9月の建築基準法施行令改正により改修するもので、内容につきましては、建築基準法施行令第129条の10、第3項第1号による戸開走行保護装置の設置義務及び同令第2号による地震時管制運転装置の設置義務とエレベーターの安全対策の強化を図るための主要装置の転倒防止の措置でございます。

次に、随意契約理由といたしましては、本工事は、日物谷改良住宅に現在設置されている2基の昇降機を、建築基準法施行令の改正に伴い行う防災対策工事であります。施工業者選定に当たりましては、既存の設備を活用しながら工事を行うため、既存設備の構造を熟知していることが不可欠であります。当設備は、社名のメーカーによるシステムが既に構築されており、その中に他社が入り込むとそのシステム自体に支障を来すため、随意契約をお願いいたします。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、見積もり経過及び結果についてご説明をさせていただきます。

資料のほうは、20ページをお願いいたします。

平成26年6月25日に見積もり合わせを行い、指名業者の東芝エレベーター株式会社中部支社から見積もりを徴しましたところ、予定価格の範囲内でございましたので、後日、税抜き780万円で契約を締結したものでございます。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしく願いいたします。

【委員】

基本的なことなのですが、今までも出たかもしれないんですけど、随意契約の場合、最低制限価格を予定しているのか。とりあえず見積もりをとって、それが、こちらで予定した額以下であれば契約することなんですね。もし契約金額が上回っていたらどうなるのかなというのと2点お願いします。

【事務局】

随意契約につきましては、最低制限価格の設定をせずに予定価格のみの設定となりまして、予定価格の範囲内であれば契約を締結させていただくという形でございます。1度目の見積もりのほうで予定価格を超えてしまった場合につきましては、2回目、3回目という形で見積もり合わせを行いまして、それで、予定価格の範囲内に入れば契約を締結させていただくという形になります。

【委員】

3階建ての市営住宅ですよ。違うんですか。そうですね。3階建ての建物にエレベーターというのは、もともとどうしても必要なんですか。4階建てでもついていないところがあるんじゃないですかね。

【担当課】

平成14年、15年に建設した日物谷改良住宅につきましては、当初、設計及び地元等の話等により、設置をお願いしてくださいねということで、一応、市内でもこの住宅だけなんですエレベーターを設置しております。

【委員】

そうすると、今の法改正に伴いまして、防災用の新しい設備をつけなければならないようなエレベーターの改修工事というのは、ほかの公共建物にもあるわけですか。

【担当課】

法改正が平成21年9月ですので、それ以前に設置されたエレベーターにつきましては、今回、市営住宅の防災対策工事と一緒にような工事が必要となってきます。

【委員長】

ほか、ないでしょうか。

【委員】

改修工事ということになりますので、そもそもの予定価格というのをどのようにお決めになったかということを教えていただけますでしょうか。

【事務局】

予定価格につきましては、契約管理課といたしましては、設計をいただきますので、設計金額を予定価格という形で設定をさせていただいております。

【委員】

設計金額というのは、どこからどういうふうに出してくるものなんですか。

【担当課】

建築住宅課のほうで、この装置を取りつけるために、要は、設計書といいますが、その金額でございます。

【委員】

16ページを見ますと設計額は885万6,000円となっております、予定価格は820万円と

なっておるけど、ここの差はどういうことですか。

【事務局】

予定価格は、こちらの20ページが税抜きで、こちらの16ページのほうは税込みの価格になっております。

【委員】

設計価格というのは、やっぱりあれなんですか、国のいろんな基準書とか何かに基づいて、これぐらいかかるであろうというようなところへ持っていかれるものなんでしょうか。

【担当課】

これにつきましては随意契約ということで、既設のエレベーター設置業者が東芝エレベーター株式会社さんのメーカーで、昇降機でございますので、その昇降機に、今回のことで言いますと、基準法に適合する装置をつけるための費用をそちらのほうで一応見積もりをとりました。その金額を設計金額としております。

【委員】

随意契約でせざるを得ないということはわかるわけなんですけれども、金額の設定において、結局、随契を委託する相手からまず設計の額を出してもらって、それに基づいて予定価格を決めて、その予定価格よりも下回っていればということが果たして妥当な金額になっているのかどうかというのを判断するのが難しいかなと思いますが、いかがでしょうか。

【担当課】

設計書を作成するときに、メーカーからの見積もりを参考に設計しておると思うんですが、メーカーからの見積もりにつきましても、当初から、予算の段階の金額を確定するときから、見積もりの金額が、これは妥当なのかということを、打ち合わせを再三しまして、結果として、こういう最後の見積もりを徴収しましたら、この見積もりが出て、これしかということで見積書の提出がありましたので、設計書を作成しました。

【委員】

同じことですが、法令改正に伴う修繕ということなので、ほかでも似たような事例がたくさんあると思いますし、ほかのメーカーがほかの場所でやっている事例もあると思いますので、そういった事例も一応参考にして見積もりを設定するか、ほかのところの見積もりとか、そういったものができなかったのかなというのは思うんですけどね。

【担当課】

この東芝エレベーター株式会社さんの機種で、例えば、ほかのメーカーの戸開走行保護装置とか、改正に伴う装置をつけようと思いますと、電源の制御盤の改造とか、いろんなことで不具合等が将来起こってくる可能性もございます。それも踏まえて、やはり、設置した業者さんからとったということもございましたので、そこから見積もりを徴収いたしました。それで、ほかのメーカーの改造の費用についての検討というのは行っておりません。

以上でございます。

【委員長】

多分、今、藤田先生がおっしゃったのは、ほかの場所で、例えば、三菱のエレベーターの改修についての事例とかを参考にしたかという話で、そうですね。具体例を挙げたんです。

【委員】

三菱でなくても、似たようなエレベーターはたくさんありますので。

【委員長】

他のメーカーの。そういうことですね、と思いますけど。

【担当課】

それにつきましても、見積もり等についてもとっております。

【委員】

別に、ここの建物にはたまたま東芝さんのがついていて、東芝さんにやってもらうのが一番手続的に楽だし、きっと安上がりになるだろうというのはわかりますので、そのこと自体を、そういうことはって言うているわけではなくて。結局、言い変えると、東芝さんをお願いせざるを得ない状況に市側としてはあるわけですから、東芝さんもちろん利益はある程度確保されなきゃいけないとは思いますが、うちしかどうせやれへんのやからというような値段のつけ方をされないようにするための工夫を、市側として、していただけたらなと。それが、先ほど藤田先生のおっしゃったように、いわゆる東芝じゃなくても、ほかで、例えば、改修工事をした事例があれば、それを見合わせながら、いや、もうちょっとこんなふうなことがおたくでもできるんじゃないかみたいな話をして、見積もりの値段に持っていただけたほうがいいんじゃないかなという気がいたします。

【担当課】

ありがとうございます。

そのように、自分らもこの価格が妥当であるかどうかということも、先ほど言いましたように、再三そのメーカーさんとの打ち合わせの中で繰り返しておりました。また、今後、先生のおっしゃられるようなことも踏まえて見積もり徴収いたしたいと思います。

【事務局】

先生方ご心配のとおり、当然のことながらうちの市長や副市長のほうも、1者随契、特にこの理由については、誰に尋ねられてもちゃんと説明ができるような、そうじゃなかったら1者随契はやめろというような感じでご指摘を受けて、うちのほうも調査のほうをやらせていただいております。そういった中でも、どうしてもこのメーカーでないと不具合とかというような理由が当然のことながらございますが、先生方からいただいた、例えば、他の事例のほうを参考に、業者の言いなりになっていないかというようなところを直すように、これからしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

ほかはよろしいでしょうか。

それでは、この案件につきましては、今いろいろな意見も出ましたので、今後、類似の事例を参考にさせていただくということでお願いしたいと思います。

抽出事案 4 平成26年度 桑名市景観計画推進事業業務委託

【委員長】

それでは、次に、第4案件です。平成26年度桑名市景観計画推進事業業務委託につきまして、発注担当課様から委託概要書の説明をしていただき、その後、事務局のほうからご説明をよろしくお願いいたします。

【担当課】

お疲れさまです。都市整備課でございます。

抽出案件の委託概要につきましてご説明させていただきます。

委託業務名といたしましては、平成26年度桑名市景観計画推進事業業務委託、設計額は181万1,160円です。履行期間といたしましては、平成27年3月20日までとなっております。

業務概要でございますが、本市は、景観法に基づいて平成22年に景観行政団体になっております。23年より桑名市の景観計画を策定し、それを運用しております、市域の景観の保全、それから形成について事業を進めているところであります。その中で、現在、多度大社前の門前地区に関しましては、その特色を生かした景観のまちづくりを進めようと地元と取り組んでおりまして、独自の、地域の景観形成について、景観重点地区として指定をしていくことを今検討しております。当該業務につきましては、重点地区の指定に向けて昨年度に実施いたしました住民意識調査の結果を分析いたしまして、専門的な見地から技術的な支援を行っていただくものでございまして、景観法、その他法令に基づく基準づくりやエリアのゾーニング、そして、必要な資料の作成、地元調整等を行いまして、景観重点地区の実

現にあわせて、景観審議会等の運営及び桑名市景観計画もこれに基づいて変更を行うための支援業務を委託したものでございます。

概要といたしましては、以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をさせていただきます。

資料のほうは、22ページをお願いいたします。

入札方法につきましては、事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、県内に本店、支店等がある、建設コンサルタント登録規程による都市計画及び地方計画部門の登録業者。技術者要件につきましては、管理技術者、照査技術者ともに、該当部門の技術士、技術管理者、RC CMのうち、いずれかを配置することといたしております。同種業務の履行実績といたしまして、平成16年度以降、官公庁元請で、景観法に基づく景観計画の策定業務及び同法に基づく景観重点地区指定業務の実績を有することを求めています。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料のほうは、23ページをお願いいたします。

平成26年5月28日に開札を行いましたところ、応札者は1者でございました。応札価格が最低制限価格以上予定価格の範囲内でありましたので、株式会社都市環境研究所三重事務所を落札候補者として、事後審査を行いました結果、適格でございましたので当該事業者を落札候補者と決定し、税抜き132万5,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見のほうをよろしくをお願いいたします。

【委員】

契約金額は非常に低いところでおさまっているんですけど、応札者が1者しか出なかった理由は何なんでしょうね。

【事務局】

詳しいところというか、なぜと言われましてもわからない部分はあるんですけども、応札価格だけを見てみますと、最低制限価格、同額で入札をしてみえますので、おそらく業者側につきましては、ほかにも競争相手がいるという前提で応札をされてみえるというところではあると思いますので、申しわけございませんが、1者になってしまったという理由につきましては、他の業者さんが技術者がいなかったとか、あまり魅力のない業務であったというようなことも考えられるかなとは思っております。

【委員】

同種業務の履行実績のある業者というのは、いわゆるこの業務に応募してきてもいいのになと思うような業者は、何者ぐらいあるのかなというのが1つと、具体的に、業務の中身というのはどういうことをやられているんですか。

【事務局】

まず、事務局のほうから、実績の業者についてお答えをさせていただきます。

確認ができる業務というのが、少なくとも500万円以上の業務委託については、システムというかテクリスというものがあるんですけども、そちらのほうに登録をしていただくような形になっておりまして、その中で、確認ができる業者さんというのは20者程度でございますので、その業者さんについては応札が可能であったのかなとは考えているところでございます。

【担当課】

業務のもうちょっと具体的な内容ということでよろしいですかね。

先ほどご説明させていただいた景観重点地区というものなんですけれども、景観計画の中で、特定の

地域に関して独特の景観を保全、形成していこうという、地域として指定をしていこうというふうで景観計画の中で位置づけておりまして、多度大社前地区というのが、多度町の多度大社の周辺で比較的昔ながらの町並みが今も残っておる地域でございまして、こちらを今、候補として指定に向けて取り組んでいるところでございまして。これは、平成23年度から地元に入っていった、地域の住民さんであったりとか、商工会議所さん、観光協会さん、店舗の経営者さんとか、多度神社さんとかにも入っていただいて、これまで勉強会とか説明会、会議等をずっと繰り返していきながら、市のほうからは、この業務委託を通じまして情報提供とか、他県、他市での景観重点地区の実例なんかをご紹介させていただきながら、これまで機運を高めてきたところでですね。今年度に関しましては、具体的な町並みづくりに向けた、例えば、建築物の規制の方法とか、そういった内容を地域の方々と一緒に検討しながら、これを景観計画に反映させていこうという内容で、その結果を景観計画の変更に盛り込んでいくと。そのための手続として、都市計画審議会でありましたりとか、景観審議会という審議会がございしますが、そちらのほうで審議していただくための資料作成とかもこの業務委託においてお願いしておるところでございます。

以上です。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

この地区の景観についての今までの業務については、今回の都市環境研究所さんがかかわっていたのかどうか、そこはどうなんですか。

【担当課】

景観計画の策定業務に始まりまして、これまで都市環境研究所さんがずっと受託されております。

【委員長】

結果的には、同じところでずっと継続、今回もなったということですね。

【担当課】

そうですね。

【委員】

こういうものというのは物の形があるわけではないので、こういったものにどれぐらいどういう費用がかかるというのが、素人からすると見当もつかないような話ではあるわけなんですけれども、何かそういう、例えば、人工代とか、そういった積算の根拠になるようなものというのは何かおありなんですか。

【担当課】

ご指摘のとおり、一般的にコンサル業務といいますと業務委託の積算基準というのがございまして、一般的な道路であったりとか下水道であったりとか、こういった設計に関しては標準の歩掛かりがございしますが、こういった特殊な業務になりますので積算基準というものは存在しておらないんですけれども、内容としまして、先ほどご説明させていただいた、前年度までの地元への意識調査の結果の分析とか、あと、先ほどご紹介しましたが、地元での検討に向けた研修会とか勉強会、会議、こういったものの企画、運営とか、あと、景観審議会、都市計画審議会で提出するような資料の作成、こういった内容で、具体的に、コンサルさんの実績に基づいて、こういった技術者が何人必要だという内容で見積もりをいただいて、それを参考に設計を組んで積算しております。

【委員長】

なかなか、私も前、研究所にいましたけれども、コンサル業務というのは、積み上げるのは、単価がはっきりしないんですが、そうすると、逆に、市民の人と一緒に、例えば、何かをやるというふうな場合だと、最低何回はやるとか、なるべく、目に見える形にできるところは、具体的な形の積み上げになっているんですかね、それぞれ。ただ、主任研究員が何人つくとか、その下に何人ぐらいの研究員でやっていくとかですね。

【担当課】

そうですね。ちなみに、今回の委託内容としては、会議の回数を5回というふうで設定して、3種類の技術者を積み上げていただいて見積もりしていただいております。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては、特に問題なしというふうにいたしたいと思います。

抽出事案5 桑名市道路台帳作成業務委託

【委員長】

それでは、最後の案件です。桑名市道路台帳作成業務委託につきまして、発注担当課様から、委託概要書、随意契約の理由について説明をしていただき、その後、事務局から見積もり経過の説明をお願いします。

【担当課】

土木課です。よろしくお願いいたします。

それでは、24ページをお開きください。

委託業務名、桑名市道路台帳作成業務委託、設計額694万2,240円、履行期間、契約日から平成27年3月20日まで。

業務概要、本業務委託は、道路法に基づき桑名市の市道認定、廃止等に伴う道路台帳更新のため、原図、調書の作成、更新、道路台帳網図の更新を行うものであります。また、並びに、道路台帳調書閲覧システムの更新を行います。作業区分といたしまして、新規認定、新規認定路線及び両路肩の変化した拡幅、改良等の路線、2.1キロメートル。道路改良、片側各改良路線、側溝、擁壁、防護柵等の新設路線、幅員の変化する舗装改良路線など2.8キロメートル。また、舗装廃止、舗装種別の変更路線、例えば、カラー舗装に変化したとか、インターロッキングにしたとか、そういった起終点の変更路線、路線名の変更路線、廃止路線の0.9キロメートルでございます。

あと、冒頭に、今回抽出された理由として、内容を詳しくという言葉をいただきましたので、登記仕様書のほうで一部ご説明させていただきます。

道路台帳図データ作成及び更新に係る作業として、まず、地形測量、現況平面図データを作成するために必要な各種表現事項、名称等を現地において調査、確認し、GNSSトータルステーション等、測量機器を用いて、地形、地物について所定の図式に測定、描画するものとする。また、道路改良における地形測量は、オフセット測量により、地形、地物の所定、図式に従い測定、描画する。また、現地測量、現地測定は、道路台帳に必要な事項について、調査、確認、測定するものとする。調査確認内容は、路面の舗装種類、側溝の種類等がございます。

それと、道路台帳図のデータ変換として、データ変換は道路台帳図について利活用が可能であるように、SXFデータ形式に変換する。また、道路網図のデータ更新、道路網図データ更新は、新規認定路線等について、対象路線の起終点記号及び路線番号を入力し作成するものとし、廃止路線について既存の道路網図データを削除するものとする。今回、対象数量は3.18キロメートルでございます。また、道路台帳調書の作成として、入力用調書作成として、道路台帳図のデータに基づき延長とか面積を入力、原票に入力すると。

そういったことで、最後に、道路基礎数値データの作成、今回、項目としては、交付税基礎数値調査表、譲与税基礎数値調査表、告示一覧チェックシート、道路基礎数値控除表などを挙げています。それと、最後、閲覧システムなんですけれども、データのセットアップとして、道路台帳図、データセットアップを更新された道路台帳図、データファイルについて、管理システムで運用可能なデータ形式に変換しシステムへの登録作業を行うということが今回の委託概要の中身でございます。

次に、25ページをお開きください。

随意契約理由書といたしまして、今回、委託名、桑名市道路台帳作成業務委託、契約の相手方、中日

本航空株式会社三重支店、随意契約理由といたしまして、本業務は、桑名市の市道認定、廃止等に伴う道路台帳更新のため、原図、調書の作成、更新、道路台帳網図の更新を行うものであり、また、この道路台帳更新は、桑名市におけるコンピューターシステムに付随するシステムであり、道路台帳更新に伴い、その運用等で電算プログラムの改変等のシステム更新を行う必要があり、そのために、システム構築を行った中日本航空株式会社以外の業者による作業は、新規に電算プログラムの構築が必要となり、期間や費用が膨大になることが容易に考えられるため、中日本航空株式会社と随意契約を行うものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、見積もり経過及び結果についてご説明をいたします。

資料は、26ページをお願いいたします。

平成26年6月25日に見積もり合わせを行い、指名業者の中日本航空株式会社三重支店から見積もりを徴しましたところ、予定価格の範囲内でありましたので、後日、税抜き575万円で契約を締結したものでございます。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

【委員】

ちょっと知らないのですが教えていただきたいんですけど、新規認定なんです。要するに、台帳というのが、道路の設計書までは行くようなものなんですかね。新しく認定した道路の路線を確定して、その線形を測量して出して、それで落とすというようなイメージなんですけれども、それは、道路を設計するというのとはまたちょっと違うんですかね。

【担当課】

道路設計というと、例えば、新設道路なら、何ももない更地に線形を入れて道路構成を設計していくというふうなんですけど、道路台帳のほうは、できたものを現地で確認して、調書に上げるということになっております。

【委員】

できたものをということは、できる前に、十分何か測量とかをしてデータもとっているものがそれどおりにできるというふうにイメージしていたんですけど、さらにもう一回、測量したり何かいろいろやらないといけないものなんですか。

【担当課】

そこを、例えば、都市計画道路でしっかりしたものもありますし、また、自前というか、直営で設計したりしたものもありますので、その辺は、使えるもの使えないものが、市と業者のほうと、それは協議して進めていきます。

【委員】

道路台帳の更新というのは、毎年定期的に行われるとか、期間とかそういうのは決まっているんですか。道路工事というのは大体毎年どこかではやっておるとおいますので、そういうのは、毎年定期的に行われて、それをやられるたびに、中日本航空といわゆる随契をしなければならないものなんですか。

【担当課】

道路台帳の更新は毎年度行っております。道路法のほうにも明記されておりますので、それに従って行っております。

【委員】

毎年度実施されて、契約の額というのは、大体毎年これぐらいの額でやってみえるということですか。

【担当課】

今はそうなんですけど、ただ、合併したときは、一部、各、多度、長島町のほうをデータ化するというところで、金額的にはこれ以上のものだったんですが、今は、600、700万で推移しております。

【委員】

いずれも、中日本航空と随契ということですか。

【担当課】

古い、昭和、私が入ったところから中日本航空と随契してやっております。

これは余談ではございますけど、三重県下14市があるのでございますけれども、9市は随意契約で、残り5市が指名競争入札をやっております。でも、指名入札の結果も同じ業者となっておると聞き及んでいます。

【委員長】

この金額は、年度によって作業量の変動とかで変わるんですか。見込みというんですかね。いかがでしょうか。

【担当課】

箇所数とか延長によっては変わることになります。それと、また、例えば、何か調査項目が増えたりすれば、それも合わせて増額となります。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

これはほかの、別な話になるんですけど、全国的に、この業務ができる、中日本航空さん以外にこういう業者というのは何者ぐらいあるものなんですか、この業界というのは。全然知らないので、済みません。

【担当課】

私もどこができるか、何者あるかというのは把握してございませんので。大手コンサルならできるのかなと思います。

【委員長】

そうですか。わりと、この会社がほぼ独占みたいな、そういう感じではない。

【担当課】

県下の他の市では、別の業者と随契しているところもございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

これは実際にはできるかどうかはあれなんですけど、さっきのエレベーターの件もそうなんですけど、類似の業務について、ほかの自治体の方にも参考など聞いていただいてというふうに思います。これは提案です。

ほかはいかがでしょう。

それでは、この案件自体につきましては、特に問題ないというふうにしたいと思います。

それでは、以上をもちまして、抽出議案の審議を終了いたします。

発注担当課様は、ここで退席をお願いします。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

【委員長】

それでは、次回の審議案件の抽出は、順番ですと次は私ですので、私がやりたいと思います。よろしく願いいたします。

3 その他

【委員長】

次に、3のその他ですが、何かございますでしょうか。

【委 員】

(特になし)

4 閉 会

【委員長】

それでは、ほかにないようでしたら、これで委員会のほうを終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。